

【発行年月日】平成27年11月1日

【発行責任者】岡山県老人福祉施設協議会 会長 小泉 立志  
【事務局連絡先】〒700-0807 岡山県岡山市北区南方2丁目13-1  
きらめきプラザ内  
TEL.086-226-3529 FAX.086-801-9190  
URL <http://www.okayama-roushikyo.jp/>

# 岡山県老人福祉施設協議会 情報誌

# B-



# K!

Vol.2

ぼっけえ

「ぼっけえ」とは岡山弁で“とても”を意味する言葉です。



岡山県老施協のぼっけえ  
ところをぎょーさん  
教えちゃるけえ



## Vol.2 お待たせしました!

昨年12月に創刊号を発行し、はや1年が経過しようとしています。

2匹目のドジョウではありませんが…

【岡山県老人福祉施設協議会(以下、県老施協)情報誌 B-OK!  
(ぼっけえ!)】Vol.2を発行させて頂きました。

ご好評を頂きました前号に引き続き、県老施協の情報・働いて  
いる職員の意外な趣味、活動の他に、会員施設の先駆的実践例を  
新たな取り組みとして紹介させて頂きます。

ご近所の良く知っている施設の新しい発見があるかも!?

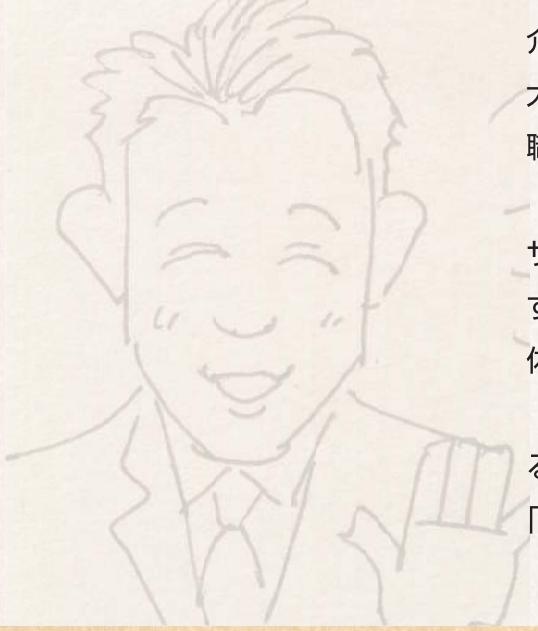
「102歳の敬礼!!」

写真提供:特別養護老人ホーム広虫荘(赤磐市)

# 就任挨拶



岡山県老人福祉施設協議会 会長  
小泉 立志  
(特別養護老人ホーム 千寿荘)



本年度より会長に就任致しました小泉と申します。大学を卒業以来30年余り、介護の業界に携わってきました。この度与えて頂いた会長という責務を、私の人生の集大成として修めていく所存です。

これまで介護という仕事に携わる中で、私自身様々な努力をして参りましたが、どれだけ努力しても常に上を目指し続けなければならないのが介護の仕事です。私がこの仕事を始めた頃に比べると、近年の介護は飛躍的に進歩を遂げ、理論・技術・方法論も大きく変化しました。昨今、この業界もIT化や介護ロボットの導入などが叫ばれていますが、介護は「人」がすべてではないでしょうか。

人を元氣にするのは、やはり「人」であり、ちょっとした声掛けやコミュニケーションが大変重要なものであると私は考えています。介護施設の大きな役割のひとつとして、一人ひとりの職員の能力を最大限に発揮させられるような環境作り、一人ひとりが輝く「プロの介護職人」を育成して行くことが重要であると思います。

また、人口減少社会・超高齢社会を目前に、介護はより高品質なサービス提供を求められ、さらに、進化をしなければならない時です。技術の進歩と共に、「将来に向けた人材育成で質の高い介護の体制構築」を目指さなければなりません。

これからの中年を担う若者が、自分の将来に夢を抱くことが出来るような環境・体制作りに専念し、会員の皆様と共に「社会貢献」・「顧客満足」・「介護学の確立」を目指して奮闘して参ります。

## 岡山県老人福祉施設協議会 創立40周年記念パーティー

平成27年10月30日(金)午後4時～7時40分、ホテルグランヴィア岡山にて岡山県老人福祉施設協議会創立40周年記念パーティーを開催しました。

私ども岡山県老人福祉施設協議会は、昭和50年10月23日の創立から本年で40周年を迎えました。

「地域包括ケアシステムの構築に向け老人福祉施設が果たすべき役割」と題して、倉敷市保健福祉局参与(兼)健康福祉部長 吉田 昌司 様(前厚生労働省 老健局振興課 課長補佐)より記念講演をいたいたい後、記念パーティーを開催しました。

当日は155名の会員老人福祉施設・事業所の皆様にご参加いただき、小泉立志 会長の開会挨拶のあと、初代会長 福原 信行 氏(代読)、2代目会長の小林 敏隆 氏より挨拶がありました。

また、公益社団法人全国老人福祉施設協議会 石川 憲会長、同 園田 修光 理事、岡山県保健福祉部 小倉 誠二次長、社会福祉法人岡山県社会福祉協議会 平松 順雄常務理事に来賓としてご出席いただきました。

特別養護老人ホーム矢掛荘 渡邊 寛道 施設長、琴演奏家 原野 学 様から尺八やお琴の演奏もあり、とても華やかな会となりました。



■小泉 立志 会長による開会挨拶



■小林 敏隆 2代目会長による挨拶



■全老施協 石川 憲 会長をはじめ来賓の皆様



# 委員会活動



総務委員会(10名)  
研修委員会(14名)  
調査研究委員会(12名)

## 総務委員会

総務委員会 委員長  
杉浦 清毅 (加茂介護支援センター緑山荘)



辞典によれば「総務」とは、“全体の事務をまとめて管理する職”とされておりますが、岡山県老施協に於いては先輩諸氏の過去40年間にわたるご尽力のおかげで、それぞれの委員会並びに部会が組織的に活発かつ効率的に機能しております。

現状に於いて当委員会として取り組んでおりますことは、会員の皆様方の知恵と汗の結晶である介護報酬収入から納入いただき、老施協の様々な活動の原資となっている会費について、収支バランスを考慮して将来を見据えた検討を行っております。

また、岡山県老施協のホームページに関する検討を行いまして、バナー広告掲載について会員施設の皆様からお取引先

にぜひ掲載依頼をして頂きたいと考えております。加えてホームページに関して会員施設からご意見をいただき、今後の運用に反映させる予定と致しております。

高齢者福祉に関しては、その担い手として利益優先の営利法人から我々のような社会福祉法人まで、様々な経営主体が存在し、サービス提供に関する環境も日々刻々と変化して混沌とした時代になっております。一時の利得を求めるよりも先達の方々の教えを胸に将来を展望し、会員の皆様方と委員の知恵と熱意を結集して、誠意をもって諸課題に取り組んで参ります。

## 研修委員会

研修委員会 委員長  
福原 文徳 (特別養護老人ホーム日本原荘)



当委員会は、岡山県老人福祉施設協議会の運営に総合的かつ円滑に行うために設置されている専門委員会で、主に県内会員施設の従事者に向けての研修会を企画・運営しています。

今年度においては、介護保険制度の基本理念のひとつである「自立支援」を実現するために、年間6回にわたり40事業所が参加しての介護力向上講習会、今後増大する認知症高齢者をサポートするために4ヶ月にわたる認知症介護

実践リーダー研修などを実施するとともに、毎年2月には各事業所での高齢者介護の実践発表として、岡山県福祉施設職員研究発表会を開催しています。

これからも、県内会員施設の皆様に、研修等をとおしてスキルや知識を得ていただく機会を提供いたしますので、ご意見・ご要望等ございましたらお申し付けくださいますようお願いいたします。

## 調査研究委員会

調査研究委員会 委員長  
櫻井 浩之 (特別養護老人ホームさくばらホーム)



調査研究委員会は、老人福祉施設関連制度や施設が当面する諸問題について調査研究し、その結果を会員施設にフィードバックすることを目的とし、三つの事業に取り組んでいます。

第一に、市町村との福祉避難所としての協定締結状況調査です。災害時に社会貢献するという意味で大きな意義を持つ福祉避難所。その役割は私たち老人福祉施設が中心を担うべきだという考え方から協定締結を推進しています。

第二に介護報酬改定後の収支状況実態調査です。収支状況を昨年度と比較し次期報酬改定の基礎資料の一助と

なることを目的としています。

第三にEPA外国人介護士に関する研修会です。

介護人材が不足する中で外国人の登用は一つの方法であると思われ、会員施設からもその仕組み等について学びたいという声があり、それを実現させる形で計画しました。

今後も委員全員から広く意見を聞きながら進めたいと考えています。

よろしくお願いします。

# 介護事故を1件でも減らしたい! 発生した事故をいち早く察知したい! ～結果分析から予防分析への転換～



入所者さまがお休みになられる居室での転倒・転落事故。不幸中の幸いで大事に至らないケースもありますが、最悪の事態に陥り骨折事故…も少なくありません。事故報告書をもとによく耳にするのが“頻回な訪室”さてみなさん、一度訪室して次に訪室できるのは何分後でしょうか?

多床室であれば検温等で訪室した際に他の入所者さまを合わせて確認することが可能ですが、個室であれば各入所者さまを確認していくことが必要です。

事故発生からしばらくして発見…という事態も時には起こってしまいます。

介護現場との打ち合わせの中で以前から“介護事故を1件でも減らしたい”これはどこの施設さまでも取り組まれていることですが、幾多ある介護用品の中からパラマウントベッド(株)さまとの協議の中で“離床CATCHベッド”的提案を頂き導入実現しました。

介護用ベッドと連結した体圧移動状態を感知する器械が察知しナースコール連動し職員へ知らせる。

これには数多くの意見が飛び交いました。



“事故対策と身体拘束は表裏一体”

離床センサーは身体を直接拘束するものではないが身体拘束との関係性はどうか。また入所者さまの身体行動を監視することはプライバシー保護法にも関わるのではないか…。

介護事故を未然に防ぐ基本的な考えは、入所者さまの行動パターンの把握と予防的対策。これはどこの施設さまでもされていますね。入所者さまへ離床センサーを適用する場合は、もちろん事前協議を重ねます。実施した後も経過確認と継続利用の有無の協議も重ねます。

大前提はお分かりの通り“ナースコールを自分の意志で押すことが困難な方”それでも事故を1件でも減らしたい。そんな思いから導入に踏み込みました。

ここで詳細を事細かにお伝えしたいところですが、泉寿の里では気軽にお問い合わせ頂けたら喜んで対応させていただきます。

## 連絡先

TEL:086-214-0800  
泉寿の里特別養護老人ホーム  
松永

# 施設紹介

## リハビリに特化したサービスを 提供します!



当法人では、平成26年度から高齢者が住み慣れた地域で継続して生活していくことができるための支援として、在宅系サービスのリハビリ強化に取り組んでいます。

これは、主に短期入所生活介護のご利用者さまに向けた取り組みで、理学療法士、看護師、介護福祉士資格を持った職員各1名の3人体制で、『ご利用者さまが安心できる在宅生活が過ごせる』を目標に、個人の生活環境や現状能力、家族の介護状況など生活全般を評価し、個人のニーズに応じた訓練計画を基に支援しています。

具体的には「自宅で転ぶことが増えた」というご利用者さまには、歩行訓練や筋力訓練、ふらつかない為のバランス訓練などを実施。「自分で食事が摂り難くなった方」には、食卓テーブルの調整や自助具への変更等を検討し、「夜のトイレが頻回で妻の介護負担が大きい」という方には、ズボンの上げ下げの練習と尿器使用の訓練をおこなっている等、個々の生活の中での問題点に対しその改善、維持をして行く為、個別に関わっています。また、時には野菜作りなどの園芸や手芸、工作、カラオケなどのレクリエーション的な取り組みも

特養ご入所者さまとともに楽しみながら実施しています。

これからも地域に暮らす高齢者の生活を支援するため、取り組みを継続して参りますので、お問い合わせ等ございましたら下記までご連絡下さいよう宜しくお願い致します。



## 連絡先

TEL:086-66-2443  
特別養護老人ホーム白寿荘  
西尾

## チーム～職場の仲間とともに～

吉備高原では「吉備高原車いすふれあいロードレース大会」が毎年開催されています。地元でのイベントということもあり、職員も選手としてエントリーしています。

- 『走ることが、体を動かすことが好きだから。』
- 『日頃の運動不足を解消するために。』
- 『みんなが走るから、自分も何となく…。』
- 『いい汗かいて美味しいビールが飲みたいから。』

職員によって動機はいろいろでしたが、吉備高原から始まった大会へのエントリー、今では総社市の吉備路マ

ラソン、矢掛町の矢掛本陣マラソン、シティライトスタジアムで開催される6時間リレーマラソン（チーム制で出場）など幅広くエントリーし、今年は津山で行われたフルマラソン（42.195km）へもチャレンジしました。

職場の仲間と共にいい汗かいて、おいしい一杯を飲みながら親睦を深めることができます明日への励みにつながっています。サイコーです☆



特別養護老人ホーム  
きびハイツ 施設長  
吉岡 裕一



## ぼっけえ **B-OK!**職員紹介!



## 福祉の世界に芸術を そして彩りを

3年前より、デイサービスセンター グリーンヒル順正の介護職員として勤務しています。

幼いころから好きだった絵や芸術を通して、利用者様とのコミュニケーションに、または広報関係や壁面展示などに役立てています。

当施設での活動は、利用者様の誕生日に似顔絵のプレゼント、デイルームや廊下でのイラストや詩の展示、装飾、即興イラストパフォーマンスなど行っています。プライベートでは個展、路上似顔絵、公民館でのイラスト教室、イラストレーションボードの制作なども行っています。

作品を通して利用者様の笑顔が引き出せたときは嬉しさがこみ上げ、福祉の世界に芸術のエッセンスは大切なものだと思っています。

これからも自分の介護観と感性に磨きをかけながら、出逢う人の心に彩りを添えていきたいです。

作品はグリーンヒル順正に展示しておりますのでどうぞお気軽にお越しくださいね。



デイサービスセンター  
グリーンヒル順正 ケアワーカー  
小藤 慶喜

# 伝えたいのは『ありのまま』

## ■介護がイメチェン！？

『輝くカイゴ男子・カイゴ女子发掘！』県内初の試みです。

介護現場で「喜び」「やりがい」「熱心さ」をもって仕事をしているカイゴ男子・カイゴ女子。その魅力を自分の目で見て感じてほしい。

平成27年11月21日(土)あなたの一票で『カイゴ男子・カイゴ女子』初代グランプリが決まります。

高齢者の増加、労働人口の減少による、介護従事者的人材不足、獲得が難しくなるということが確実とされています。

21世紀委員会では、介護に携わる職員の情熱や介護の持つ魅力・感動、そしてご家族の思いを綴った『介護の魅力と感動(第一章・第二章)』を作成し、介護という仕事のすばらしさを発信してきました。

## ■今度はライブで！

一般に持たれているイメージや言葉ではなく、介護現場で働くきらきら輝くカイゴ男子・カイゴ女子と、普段の姿の“オン”と“オフ”～ありのまま～を、直接その目で見て感じてほしい。

介護業界に対するイメージアップを図り、業界に対する憧れや関心を喚起し、介護の現場に多くの人材が集まる状況を作り出したい。21世紀委員会の願いです。

## FBP 祝☆200いいね！

岡山県老施協が運営しておりますフェイスブックページ。昨年の創刊号発刊時に祝100いいね！とお知らせいたしましたが、ナントこの度、200いいね！を達成いたしました。v(^^)v

福祉業界だけに止まらず、色々な方に老施協の活動をドンドン広めて行きたいと思っております。

この調子で行けば、来年は300いいね！(?)

今後も、ご声援宜しくお願ひします。



岡山県老人福祉施設協議会  
フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/okayama.roushikyou>



## 編集後記 またあした!!

大変ご好評を頂きました【B-OK！ 創刊号】に引き続き、Vol.2の発行です。

正式に年1回の発行が決まり、今後、表紙の写真はパネル展示にご応募頂いた作品を掲載させて頂く事となりました。

そして今回は4コマ漫画の掲載など新たな試みを含め、作成検討班もがんばってます。益々の情報提供・ご声援、宜しくお願いしま～す!!

では、来年Vol.3にてお会いしま～す。

ほんじゃ、またあした (^^)//